KLCP を通して

薬学部薬科学科3年 伊藤 碧



さらに、実際に韓国で三週間暮らしてみると、現地の人々の温かみを感じました。タクシーの運転手の方は、日本語で話そうとしてくれたり、何かを注文するときに、私たちが拙い韓国語を話していてもしっかりと聞いてくれて、私たちが聞きしてりないようにゆっくり返事をしてくれたり、「どこからきたの~?」と話しかけてくださる方もいました。このようなことがあるたびに、心が温かくなりました。

私はこの韓国短期留学を通して、言語や文化を学び、現地の方の優しさに触れることができました。まず、韓国に行って印象に残ったことは、カフェが至る所にあるという点です。町中に出るだけでチェーン店はもちろんのこと、個人経営のカフェもあり、大学付近にあるカフェを制覇しようと思っていたのですが、結局すべて回れませんでした。しかし、私が利用したお店は、ドリンクやケーキがおいしく、午後から講義がある日には、毎回テイクアウトして講義中に飲んでいました。また、ゴンチャやスターバックスもあり、韓国限定のものがたくさんありました。スターバックスでは、タンブラーやキスターバックスもあり、韓国限定のものがたくさんありました。スターバックスでは、タンブラーやキーホルダーも日本のものとは違い、かわいいものが多かったです。





この三週間で読めなかった韓国語が読めるようになり、チョンジュでのハンボク(韓服)や、テコンドー体験をして、文化も知ることができ、様々な経験を得ることができました。この留学で新しく友人をつくって、たくさんの忘れられない思い出をつくることができました。このサマーセミナーに参加してとてもよかったと感じました。